

平成 27 年 3 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

3月の受注や売上は、輸送機器、食料品、一般機器、商店街、サービス業、運輸業の一部でも増加したとの報告である。

一方で、繊維工業、木材・木製品、窯業・土石製品、卸売業、建設業からは売上が減少したとの報告である。特に、昨年3月の消費税増税前の駆け込み需要で好調であった、食料品、小売業や木材・木製品の売上が伸びていない状況がある。

地方でのアベノミクスが緒に就いていないという声もあり、今後の景況に明るい展望を持てるまでには至っていない。

山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 3 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：12.5% 悪化：30.0% DI 値：▲17.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：18.8% 減少：31.3% DI 値：▲12.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：17.5% 悪化：26.3% DI 値：▲8.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 3 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲57.1	▲25.0	▲66.7	▲100	▲16.7	22.2	0.0	▲24.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	全非製造業
0.0	▲55.6	▲75.0	▲0.0	10.0	14.3	▲12.8
						

全体
▲17.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>昨年は消費税増税前の駆け込み需要で好調であったが、今年は前年の売上に届いていない。宇部地区では県外資本のスイーツ店がオープンし、売上に影響が出ている。</p>	パン・菓子製造業
	<p>2月は対前年同月+30%アップと驚異的な業績となった。3月は3月23日時点で前年同時期+25%程度の推移。3月23日の日経MJ紙でも大きく取り上げられるなど、高水準の全国区メディア露出に加えて、NHK大河ドラマと世界遺産の暫定リストに掲載された効果で、今後も順調な業績が期待される。平成26年度の業績は対前年15%アップで11億円オーバー、過去最高となった。</p>	水産食料品製造業 萩市
	<p>販売量の減少が続いており厳しい。業界によっては景気の回復の話も聞くが、小売業はマイナスとなっているのではないかとと思われる。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>円安の為、輸入原材料価格が高騰して収益を圧迫している。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>地球温暖化の影響のせいか、季節はずれの長雨など天候不順で作物の生育状況が遅れ気味となっている。また、3月末の時点で過去最速のペースで、台風4号が発生するなど、平成27年度は、豪雨、メガ台風に対する対策が必要と考える。昨年からの米あまり基調に伴い、米の取引価格の低下も回復するような傾向ではなく、このままでは、米生産の継続ができなくなる生産者が増えることが引き続き懸念されている。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>主力販売取引先が実施するキャンペーン等販促活動もなかなか浸透せず店頭は厳しい状況。技能実習生の募集は、中国人が困難になりベトナム人を受入れることとした。言葉の壁にぶつかり苦慮しているが、徳山大学ベトナム人留学生に通訳、指導等をお願いしている。</p>	下着類製造業
	<p>変化が見えない。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>仕事量はそこそこあるが、メーカーからのコストダウンの要請があり、同水準の売上を保つためには量をこなさなければならないため人手不足となり、主婦等のパート募集をしているが集まらない。</p>	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	<p>昨年は消費税増税前の駆け込み需要もあったが、今年は新設住宅着工数が停滞している。この傾向はしばらく続くと思われる。丸太価格は高止まりのまま。</p>	製材業・木製品製造業 山口市

	技術力や営業力で工務店の差が拡大してきており、組合員はいかに力のある工務店と取引をするかで売上高にも差が出ている。しかしながら、全体的な業界の景況は低調である。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	オフ輪印刷、平台印刷のすみ分けが無く、設備の有無にかかわらず価格競争に参戦する傾向がある。企画技術による優位性が認められ受注できているのが救い。	印刷 下関市
印刷	印刷会社が一番書き入れ時の年度末ではあるが、入札等、競争が激化し、昨年ほど物件を獲得することが出来なかった。おかげで土日、祝日の深夜まで及んでいたサービス残業も減り、体調への心配は少なくなったものの、売り上げは減り会社経営としてのダメージは大きい。	印刷 山口市
窯業・土石製品	前年同月に比べ出荷数量が減ってきた。	砕石製造業
	出荷量は、前月比120%、前年同月比93%。4月から2月の出荷量は対前年比98%であり、このまま推移すると、本年度出荷量は昨年度をやや下回る見込み。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。セメントの一部に4月から値上の動きあり。	生コンクリート製造業
	大手工場の閉鎖から下関市の人口流出に歯止めがかからない。人口の減少に伴い需要が減っている。人口の減少は業界にとっては命とりである。	石工品製造業
一般機器	3月の景況は、2月と変わりなく概ね順調。自動車関連は、メーカーの生産の谷間でやや低調。新年度には改善できそうである。人材募集をしても応募者が無いため、県主催の企業説明会に参加の意向を持つ企業もある。ガソリンの価格が上昇気味でこれからの懸念材料である。	一般機械器具製造業 防府市
	従来からの機械製造関係、食品加工、スーパー等に加え農業部門も人手不足から、外国人技能実習生受け入れ、増員の相談あり。臨時職員の紹介を依頼されることも多いが、ハローワークに登録しても臨時職員の確保も難しく、一部、派遣頼みの企業もある。円安に伴い実習生の実質手取りが目減りしているため、かなりの賃金アップをしないと実習生の応募がない事態となっており、企業の負担は今後とも増加するであろう。	一般機械器具製造業 宇部市
	前月と同じく年度末で売上が微増している。	
	政府の水産関係補助金を利用した設備投資を受注したが、人手不足や資材の高騰のため納入先建屋の建設が進まず、製品の納入が遅れている。上期は例年受注が減少する時期でもあり、売上高が減少してい	一般機械器具製造業 下関市

	る。	
	金型製造設備稼働率はマシニングセンター、放電加工、ワイヤー加工で上がったが、研削盤の故障、修理もあり研削工程にやや遅れが出ている。受注内容は自動車のモーターローター封止、電子基盤の封止など特殊材料（セラミック、熱硬化性）での金型が非常に多く、他は樹脂タブレット製作金型、自動車部品、医療部品、電池部品が多い。新規開発の試作が多く量産化も伺える。現状は、5月生産分もほぼ確定し6月以降の受注活動をしている。但し、昨年同様に低価格、短納期、品質の向上の顧客からの要求が厳しく頭が痛い状況だが、第1四半期はほぼ予定通り生産が出来た。成形生産設備稼働率は、年度末の在庫調整もあり少し下がった。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	鉄道車両は、出荷目前となり生産量、作業量も少し減っているが安定している。精密加工は順調に高水準の作業量を確保しており、プラント部門は今期は乗り切れるも来期は苦しくなる見通し。	鉄道車両・同部品製造業
	人材不足が続いている。	船舶製造・修理業
卸売業	原油価格が落ち着き傾向にあり、景気改善に期待している。	各種商品卸売業
	3月も売上・在庫とも減少しており、収益が悪化している。これは、販売不振と原料の高騰によるもので、景気の回復感は全く無い。	乾物卸売業
	3年物の養殖“ふく”の在庫が無く高騰している。このため仲卸業者は仕入原価が上がり、収益が悪化している。資金繰りは年末等の売上の貯蓄でなんとか回っている状況。	生鮮・魚介卸売業
小売業	昨年は消費税増税前の駆け込み需要で好調であったが、今年は売上が上がらず苦しい月であった。各化粧品メーカーの決算月のため、個店では売り出しセール等で工夫をし、なんとか目標達成ができた。専門店の経営は年々大変になってきている。	化粧品小売業
	組合員には小売業者が多く、乳製品他商品の仕入の値段が上がり価格に転嫁できるかどうか不安に思っている。年金暮らしの人や中小零細業に勤める人たちの買い控えが目立ち始め、必要最低限のものしか買わない傾向である。卒業就職の衣類や電化製品・家具などの購入がある。地区内の中小企業者は人手不足でどの業種でも募集時の時間給が上昇しており、時給800円台が多いが、いずれ900円台となる勢いで、このままであると人手不足による廃業も予想される。特に建設・福祉・コンビニなどの求人広告が多い。福祉関連については、前月に続き看	各種商品小売業岩国市

	<p>護師やヘルパーなど職員の確保に苦労している施設が多くなっている。家族の外出志向が強くなってきており飲食店の新規開業が多少有る。域内に、とんかつ屋と弁当屋が開業した。</p>	
	<p>例年どおり各商店街の春の売り出しを実施し、当組合も「さくらえびす祭り」を開催した。周南市本庁舎建て替えにともなう仮庁舎が旧近鉄松下を利用すると公式発表された。</p>	<p>各種商品小売業 周南市</p>
	<p>昨年3月は消費税増税前の駆け込み需要で前年同月比36%増加したが、今年は前年同月比25%程度の減少となる見込みである。通年では前年比1%程度の減少となる見通し。2月までは2.5%の増加であったが、3月の大幅減が影響した。全体として、個人消費は弱く低迷している。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>今年に入り客数、売上ともに、前年を下回る状況の厳しい売上状況が続いている。年度の通算でも、かなり前年度を下回る厳しい状況。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
商店街	<p>3月はイベントも実施し、駐車場の利用も増え各店舗の集客も売上も増加した模様。イベント時のみでなく、日頃からこの状況であれば良いと思う。</p>	<p>山口市</p>
	<p>商店街の電気店では個店での展示会等が難しいため、メーカーと展示会を共催し販売促進をしてきたが、最近は開催費用の捻出も難しく、展示会開催も難しくなっており売上に影響している。衣料は季節の変わり目で多少上向きな売上だが、食料品はたくさんさんの大型店の影響が大きく厳しい状況が続いている。全体的には売上の減少傾向であるが、気候の良い3月、4月の売上増加を多少期待している。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>不景気が蔓延している。主婦が生活費を抑えることを考えた時、まず美容室・タクシーの支出を抑える。2ヶ月に1度の年金支給日にお客様の入店を待っているが、老後資金のために買い控えをしている模様で客足が減っている。激安カット店・激安ドラッグストア等の出店も、美容室の経営を圧迫している。</p>	<p>美容業</p>
	<p>組合員店の来客数が減っていると思われるので何とか工夫をし、売上アップに繋がる努力を続けたい。</p>	<p>理容業</p>
	<p>自動車整備士確保対策として、国と業界団体が中心となり整備人材確保。育成連絡会を立ち上げた。今後、自動車整備士を目指す若者を増やすため、高校訪問や各種PR活動に力を入れることになる。</p>	<p>自動車整備業</p>
	<p>各社の決算や補助金の申請が始まったりで商品の動きは上向きつつある。自動車販売も前月と比べて伸びているのでそれに伴う取付け業務ものびた。</p>	
	<p>フィットネスジムの春新規入会は鈍い。スイミングは、少子化の影響をどう補っていくかが課題で春の</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>

	新入会を考察している。3月の入会は少し増加。重油価格が下がってきたのは好条件となっている。	
	宿泊人員及び売上高とも前年をクリアした。特に休前日は非常に宿泊客が多く、満室であった。	旅館業 山口市
	観光客が増えている。昼食の利用が増え、ビジネス旅館の宿泊が増えている。結婚式は減っているが、歓送迎会は増えている。昨年があまりに悪かったので昨年よりは良いという状況。	旅館業 下関市
	前年は消費税の増税前で単価の上昇がある。今年度は雇用人員の整理・退職者が増加。 飲食部門等の営業整理等で売り上げが減少。原油価格の減少はあるが、営業利益は変わらず。	旅館業 長門市
	季節が変わり、観光客が増加するとの予想であったが、なかなか思うとおりにいってない様である。山陰に限らず、各地区とも売り上げの伸長がない。加えて、商品の仕入れ価格が上昇しており、利益を圧迫している。交際費の税制変更の効果も、特に見られない。業界従事者の減少の懸念が強い。	飲食業
	3月に入り順調に冬物衣料のクリーニングが出た。この時期に売上を伸ばす事業所は、閑散期の1月2月にしっかりと販促をしている事業所が多い。最も仕事量の多い4月、5月を警戒して仕事量を分散する意味でも大変重要な月でもある。セールとしては「衣替え早出しセール」の割引価格や、「厚手コートやダウン製品のキャンペーン」で価格の値引きはしないが水洗いや通気性のある不織布包装などで付加価値を付けている。	普通洗濯業
建設業	中電への工事申請は2月308件（当支部分274件）、前年同月322件（同278件）。太陽光発電への申請58件、オール電化申請107件（前年は太陽光82件、オール電化105件）。LED街路灯への切替・新設申請は21件（前年82件）であった。	電気工事業
	年度末の繁忙期が例年より早く早めに終了したように思われる。地方でのアベノミクスが緒に就いていない。高校新卒者への求人が厳しくなっている。	左官業
	柳井地区の県関係工事の発注が著しく少ないと組合員からの声があり、特に上関に至っては下半期に工事がほとんど無いとのこと。柳井地区は大変厳しい中、苦勞しながら経営している。	土木工事業 柳井市
	アベノミクスの効果は地方まではなかなか届かない様子で、依然として建設業の景気は向上していない。若い人には続けにくい職業なので、技術者不足が続いている。	土木工事業 下松市

	<p>3月は例年発注の少ない時期で、受注高は対前年同月比で29%。今年度の累計では、対前年同月比158%。徐々に災害復旧工事も減っている。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
	<p>3月末納期の官公需分はなんとか仕事をこなせた。人手不足で採用をしたいが、4～5月は発注が無い ため採用の検討が出来ない。特に4月は先が見えず不安な状態となる。募集をしても人が集まらない状況が続いている。建設業関係では、工期が長く、月毎では大きな変化が無く判断が難しい。</p>	<p>管工事業</p>
運輸業	<p>長距離ドライバーの減少による車両不足が、3月に入り一層目立った。鉄鋼素材とその加工品の運搬に多くの車両を使い、他製品の輸送用車両のやり繰りが難しく、中小輸送業者である組合員の最大の悩みとなっている。収益は前年対比で差引0。運賃が据え置きのまま燃料費がジリジリと値上げ傾向のため、経営が圧迫されている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>売上高は期末需要により昨年を上回り、保管庫の活用も輸入部品の増加で高水準に推移。新年度はこの反動と大手自動車製造会社の製造海外移転の本格化に伴い物流の動きは鈍くなりそう。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>期末に当たり、物流業界も繁忙期を迎えている。車両、乗務員ともに不足の状態が続いており、運送便の手配に頭を悩ませている。顧客の在庫の動きも激しいため、倉庫業も多忙である。軽油が値上がりが続けていることが懸念材料である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>桜も咲き始めたが景気上昇の感は未だない。燃料費も値上がり気味で、当組合購入金額は10:96.5円となった。大企業のような賃上げは我々中小企業では出来ないため、景気の上昇を望んでいる。天候が悪く、組合のETC利用もやや減少気味であるが、順調な範囲内で収まっている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、消費税込で、前年比▲2.5%(平成27年2月1日～平成27年3月20日分)。平成27年2月1日～28日分は▲3.9%、平成27年3月1日～20日分は▲0.5%となりました。昨年11月以降は増加傾向だったが2月になって再び暗転した。当組合の取扱いは、周南3市と防府市だが、2月分については、周南市と防府市地区が大幅減少、下松、光はほぼ前年並みの取扱い。寒さからか深夜、休日の利用客が大幅に減少している模様である。主要燃料であるLPGは、CP(通告価格)と為替に連動して変動するが、原油価格は上昇したが、ブタン、プロパンのCPは前月分よりも若干下降しているため、購入単価は先月と同額となった。前年度の2月が最高価格に高騰して</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>

	<p>いたこともあり、前年3月分に比べ28%安価になっている。再び上昇する懸念はあるが、車両代や整備費用が上昇しているなか燃料費が下がり大いに助かっている。売上の減少に比例し乗務員の収入も減少し、乗務員の確保がたいへん難しく、稼働台数も減少している。株価は上昇しているようだが、まだまだ地方の個人消費は、たいへん厳しい状況が続いている。</p>	
	<p>未だアベノミクス効果は、地方港までには及んでいない。</p>	<p>港湾運送業</p>